令和7年度

SAGA ITC

環境に優しい水性塗料用紫外線吸収剤に関する研究（第４報）

材料環境部　久間俊平、田栗有樹、帆秋圭司、矢野昌之
大阪公立大学大学院工学研究科　小畠誠也

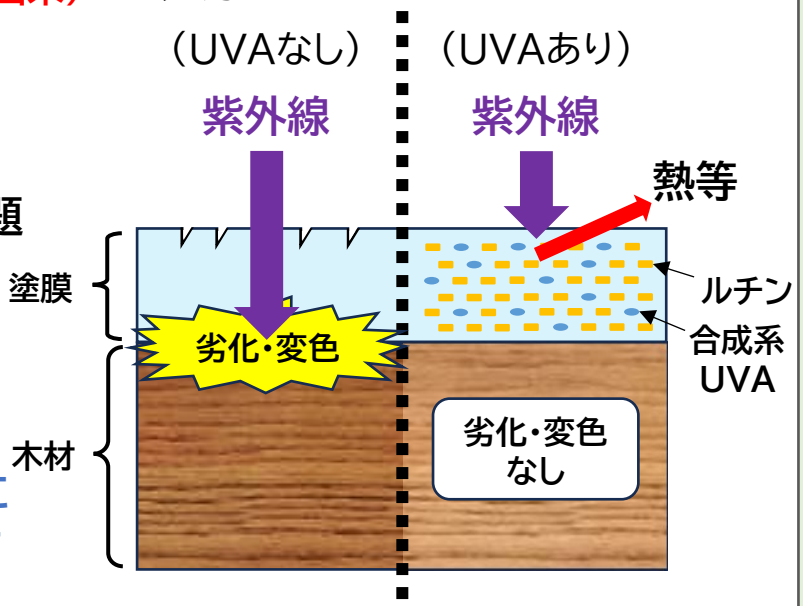
概要　未利用地域資源に含有されるバイオマス材料を活用して、低環境負荷の木材用水性塗料を開発する研究です。

◇ 木材用塗料のニーズ
- 低環境負荷（水性，自然由来）
- 木質感を失わない（クリア塗料）

◇ 水性クリア塗料の課題
- 耐候性が低い
（紫外線が塗膜を透過する→木材自体も劣化）

紫外線吸収剤（UVA）による耐候性向上を検討

○ UVAによる紫外線劣化防止メカニズム



○ 柑橘類やアスパラガス等に含有されるルチンをUVAとして用い、合成系UVAと共に水性塗料に添加することで、どちらか単独の使用よりも、高い変色抑制効果が得られることを確認しました。

○ バイオマス系UVAを利用した水性塗料技術について、引き続き検討します。

◇ 詳しい内容は、研究報告書でご覧いただけます。

【お問合せ先】佐賀県工業技術センター 材料環境部　0952-30-8163